

超行動派。

横浜市議員(旭区選出)

かがゆ康弘

やすひろ

節電・節水へのご協力ありがとうございます。

民主党横浜市議員団所属

2011年
11月号

市政報告

連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (かがゆ康弘事務所) ホームページは [かがゆ](http://www.kogayu.net)

TEL/FAX: 045-366-9381 メール: info@kogayu.net <http://www.kogayu.net>

横浜市「平成24年度予算要望・提言書」を提出しました

かがゆ康弘は、横浜市の平成24年度一般会計および特別会計予算編成に対する要望、さらには今後取り組むべき諸課題に対する政策提言を取りまとめ、「平成24年度予算要望・提言書」として、9月30日に林文子 横浜市長に提出しました。

横浜市の財政状況は、依然として大変厳しく、来年度の収支不足見込額は270億円にも上ると試算されており、従来よりも一層の選択と集中の決断が求められます。

今回の予算要望・提言書では、**かがゆ康弘**の地域活動において区民の皆様から寄せられたご意見や各種団体からのヒアリングをもとに、3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故、福祉・医療の充実、円高や産業の空洞化による横浜市内経済の影響など、市民・市内事業者の将来の不安を取り除くことを最優先課題として取り上げております。



左から林文子市長、市野太郎事務局長、かがゆ康弘副団長、森敏明団長

主な要望と提言(重点項目・局別要望・緊急提言・旭区への要望)

平成24年度も今年度と同程度の一般財源収入しか見込めない一方、震災対策の財政需要が増加するなど、非常事態ともいえる財政運営が強いられる中、横浜市に対して緊急提言を含む、9つの重点項目を中心に関連する局区への要望・提言をいたしました。

- ①防災対策の推進 ②予算の重点配分と将来を見据えた市債の発行 ③子育て支援の推進
- ④医療の充実 ⑤公共施設の維持・補修費の確保 ⑥市内事業者への受注機会の拡大
- ⑦環境施策の充実 ⑧公契約条例の制定 ⑨教育予算の増額



| 関連部局・旭区 | 要望・提言事項 |
|---|---|
| 特に緊急を要する提言 | 放射線量測定が必要と判断すべき物について、迅速に測定できる常時体制の整備 主要ターミナルや大規模施設における帰宅困難者避難場所における防災計画の策定 発災時における行政職員の行動計画の再確認と応急医療体制の強化 |
| 消防局関連 | 地域防災拠点などの場所や役割の市民への周知と防災訓練への支援と参加促進 |
| 財政局関連 | 歳入(財源)の確保・資産活用の推進 |
| 健康福祉局関連 | 地域において安心して受けられる医療環境の整備と高度先進医療施設の市内集積 |
| こども青少年局関連 | 待機児童解消に向けた取り組みを検証し、質と量の確保ができる事業間連携 |
| 都市整備局関連 | 選択と集中による市民の暮らしに必要な都市整備事業の予算規模の維持 |
| 道路局関連 | 地元住民の理解を得た都市計画道路・主要幹線道路の早期整備 |
| 環境創造局関連 | 市内緑地の積極的な保全と市独自の緑地保全制度の周知や地権者への働き掛け |
| 教育委員会事務局関連 | 教育指導要領の変更に伴う35人学級の拡大や英語教育におけるサポート体制の充実、市独自の理科教育強化事業の策定、中期計画に定めた市立小中学校への空調設備の設置 |
| 旭区  | 歩行者の安全確保や渋滞緩和に不可欠な区内幹線道路の整備 地域ケアプラザ未整備地区(白根・二俣川)の新設計画の具体化 夜間休日診療センターの建て替えを予定通り行う予算措置の実現 |

平成22年度 決算特別委員会において横浜市をチェック

市税収入が2年連続減収となるなど、厳しい財政運営が続いた横浜市の平成22年度決算を審査する決算特別委員会において、**こがゆ康弘**は、財政局、政策局、市民局の3つの局に対する質問を行い、横浜市の行財政をチェックしました。

✓ 財政局への質問 (10月14日)

〈こがゆ康弘〉平成22年度の財政局の一般会計決算の歳入面および歳出面の特徴はどのようなものだったのか？

〈財政局長〉歳入面については、一人当たりの給与所得が減少したことにより、個人市民税が大幅に減少した。歳出面については、事務的な経費の他に、東日本大震災の影響により本来事業に支出すべき3,600万円の翌年度への繰越も発生した。

✓ 政策局への質問 (10月7日)

〈こがゆ康弘〉横浜市が行っている横浜市民意識調査と、区が実施する区民意識調査との関係はどのようになっているのか？また、調査結果をどのように市政に反映しているのか？

〈政策局長〉市民意識調査は、全市的な傾向を把握することが目的であり、区民意識調査は、各区の地域特性を踏まえ、きめ細かい地域ニーズの把握に努めている。調査結果は、市政運営や政策立案の基礎資料として活用しており、次年度予算編成作業にも活かしている。

〈こがゆ康弘〉「平成24年度予算編成スタートにあたっての市政運営の基本的な考え方」にもとづき24年度の市政運営をどのように進めるのか？

〈小松崎副市長〉歳入の伸びが見込めないなかでも、震災対策に早急に取り組んでいく。また、横浜の強みを生かした重点化すべき施策は強力で推進して、活力溢れる良い循環を目指す。

✓ 市民局への質問 (10月3日)

〈こがゆ康弘〉災害時の広報について、区役所から自治会町内会長への緊急連絡網の現状はどのようになっているのか？また、災害時に電話がパンクしたり個々の世帯へ連絡できなかつたりした場合、連絡網を地域で具体的にどのように活用しているのか？

〈市民局長〉区役所から連合町内会長への緊急連絡網は整備されているが、連合町内会長から地区町内会長への連絡網が整備されていないところもあると聞いており、今回を機に作成の依頼をした。電話が使えなくなった際の具体的な答えはないが、地域で情報を伝達するという意識をしていただくことが出発点と考えており、様々な広報手段を用いて、引き続き多くの市民への確実な情報伝達について検討する。



決算特別委員会における こがゆ康弘の質問風景

旭区区民意識調査アンケートの結果速報

旭区において、7月に実施した「旭区区民意識調査アンケート」の集計結果がまとまりました。旭区内にお住いの20歳以上の男女3,000人を対象に行い、1,622件の回答がありました。

- 「旭区が住みやすい」と思っている区民が47.3%と前を上回る。
- 「自分の病気や老後のこと」が心配ごとの第一位。「地震・災害のこと」が前回より大幅上昇。
- 「歩道整備や段差解消など歩きやすい道路の整備」が要望の第一位。

お問い合わせ先：旭区区政推進課 電話番号045-954-6025



横浜市議員 (旭区選出) こがゆ康弘 プロフィール

超行動派。 13年間の民間企業勤務を経て、横浜市政を志す。
2006年初当選 (現在3期目)

【趣味】 釣り、バスケットボール、読書、模型製作、…

【資格】 コンクリート技士、1級土木施工管理技士

特別委員会: 安全安心都市特別委員会 委員長
常任委員会: 健康福祉・病院経営委員会 委員
民主党横浜市議員団 副団長

小さなことでも気軽に
ご相談下さい!
“地域の声”が活動の源です!

連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川1-5 (事務所)
TEL/FAX: 045-366-9381
メール: info@kogayu.net
http://www.kogayu.net

こがゆ 検索